

気仙沼市を表敬訪問し、連携と協力に関する協定の継続を相互に確認しました (2018/07/27)

テーマ：包括的連携と相互の協力
場所：宮城県気仙沼市

2013年7月13日に、気仙沼市と東北大学災害科学国際研究所は、連携と協力に関する協定を締結しています。協定期間は締結から5年となっております。この度、その5年が経過したことを受けて、その協定期間を延長・更新することを相互に確認し、今後の方針について意見交換するために、気仙沼市への表敬訪問を行いました。気仙沼市からは、菅原茂市長ほか、総務部、震災復興・企画部の皆様が出席されました。当研究所からは、所長の今村文彦教授、気仙沼分室ワーキンググループ長の佐藤翔輔准教授、気仙沼分室の駐在職員である熊谷成一技術補佐員が参加しました。

昨今の双方の状況・活動について情報交換・共有を行うとともに、気仙沼分室や防災文化講演会などを通じた継続的な連携について確認を行いました。



連携と協定に関する表敬訪問の様子

左3番目から、菅原茂市長、今村文彦教授、佐藤翔輔准教授、熊谷成一技術補佐員

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）

写真撮影：熊谷成一（気仙沼分室）